

ユニバーサルデザインがひらく これからの未来

東京 2020 オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、ユニバーサルデザインのまちづくりと心のバリアフリーを推進する動きが高まっています。

この講座では、基本的な考え方や取り組みについて学び、誰もがより快適に生活できる社会の形成について、まちづくり・住宅環境など様々な観点からアプローチします。これからのユニバーサルデザインのあり方と可能性について、一緒に考えてみませんか？

ユニバーサル デザインとは？

〈ユニバーサル〉は、
普遍的な・すべての人のという意味をもつことば。
ユニバーサルデザインは、
〈すべての人のためのデザイン〉を指し、
製品・環境・建物・空間などをあらゆる人が
利用できるようにデザインする考え方です。

■ 定員 / 80名 ■ 受講料 / 3,000円 ■ 会場 / 水戸生涯学習センター 大講座室

第1回

9月19日(土)
14:00-16:00

ユニバーサルデザイン/バリアフリーとは

講師 佐藤 克志 氏

第2回

9月26日(土)
14:00-16:00

福祉のまちづくり
- ユニバーサルデザインの取り組みから見えてきたこと -

講師 高橋 儀平 氏

第3回

10月10日(土)
14:00-16:00

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会と
ユニバーサルデザイン

講師 高橋 儀平 氏

第4回

10月31日(土)
14:00-16:00

ライフタイム・デザインで家を考える
- 車いすの視点から捉えるユニバーサルデザインと建築 -

講師 丹羽 太一 氏 / 丹羽 菜生 氏

第5回

11月7日(土)
14:00-16:00

高齢社会における住宅環境

講師 佐藤 克志 氏



日本女子大学家政学部住居学科 教授

佐藤 克志 氏

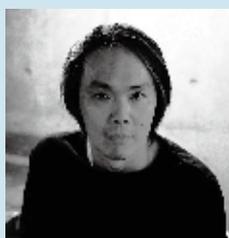
東京理科大学理工学部建築学科助手、建設省建築研究所、国連・アジア太平洋経済社会委員会(バリアフリー専門家)を経て、1999年より日本女子大学家政学部住居学科の教員としてバリアフリー・ユニバーサルデザインに関する教育に従事。主な社会活動として、国土交通省・高齢者・障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準改訂委員会・委員、地方自治体(豊島区、台東区、三鷹市、武蔵野市、町田市)のバリアフリーの街づくり推進協議会・会長などがある。



東洋大学 名誉教授 / 東洋大学工業技術研究所客員研究員

高橋 儀平 氏

20代から障害のある人の住まいづくりや地域のボランティア活動に関わる。30代から国や地方公共団体等の福祉のまちづくり、バリアフリー、ユニバーサルデザイン法制度・設計計画に参画。新国立競技場ユニバーサルデザインアドバイザー、東京2020大会都立競技施設のアクセシビリティ・ワーキング副委員長、水戸市新庁舎ユニバーサルデザインアドバイザーほか。近著に「福祉のまちづくりその思想と展開」彰国社刊(2019年)、「心のバリアフリーを学ぶ」小学館(2020年)。



東京大学大学院経済学研究科 REDDY
特任研究職員

丹羽 太一 氏

1992年 早稲田大学理工学部建築学科建設工学修士課程修了
1992年～2010年 早稲田大学建築学科石山修武研究室
2010年～2012年 東京大学大学院経済学研究科 READ
2012年～2018年 同 REASE
2018年～ 同 REDDY
近著に「体験的ライフタイム・ホームズ論」共編著・彰国社(2016年)。



中央大学研究開発機構 機構助教
一級建築士事務所 BASSTRONAUTS 主宰

丹羽 菜生 氏

2004年 早稲田大学理工学研究科建設工学博士課程後期課程修了
2004年～2008年 早稲田大学理工学総合研究センター 客員研究員
2005年～ 一級建築士事務所 BASSTRONAUTS 主宰
2016年～ 中央大学研究開発機構 機構助教